

建築学科

A. 研究発表

□ 1. 論文

- (1) □30年以上使用の体育館における太陽熱利用システムの運用と性能およびエクセルギー評価
宋城基*・伊澤康一**
(* 広島工業大学環境学部建築デザイン学科), (** 福山大学工学部建築学科)
Journal of Japan Solar Energy Society, 49(2), 65-71 (2023).

In order to realize ZEB and ZWB in shelter gymnasiums, the performance, operational status, and problems of the solar thermal utilization system that has been used in a gymnasium for more than 30 years were investigated and studied. The annual solar thermal collection efficiency was about 47%, confirming that the performance of the solar thermal collection has not declined. In the exergy consumption process, it was found that the solar thermal utilization system with boiler consumes about 2 times less exergy than the boiler alone.

□ 2. 報 文

- (1) □「ウィーン文化財」：ウィーン市による建築データベースとデジタル都市地図の統合
山本一貴

日本建築学会建築歴史・意匠委員会歴史的建築データベース小委員会 2023 年度日本建築学会大会（近畿）建築歴史・意匠部門パネルディスカッション(1)資料 歴史的建築データベースのこれまでとこれから, 53-56. (2023 年 9 月)

本稿は、オーストリア共和国の首都ウィーンにおける歴史的建築データベースの整備状況について、ウィーン市が市ウェブサイト上で提供するデジタル都市地図のひとつ「ウィーン文化財 (Wien Kulturgut)」を取り上げるものである。地図の建物情報の基礎となる建築データベースの整備過程、地図の構成と内容、物件検索の特徴を報告し、行政が主体となって、都市景観や他の文化遺産のデータベースとも重ね合わせて分析できるかたちにデジタル都市地図を整備し、公共財として広く利用できるようにしていることの意義を指摘した。

□ 3. 口頭発表

- (1) □地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断
その3. 札幌・福山・熊本における夏季の想像温度と実際温度の差異と経日変化
豊澄潤・藤田千尋・山田采果・伊澤康一・辻原万規彦・岡本孝美・齊藤雅也
日本建築学会中国支部研究報告集（西条），第 46 巻，pp. 443-446（2023 年 3 月）
- (2) □『セセッション圖案集 室内之部』の基本的書誌情報について：『セセッション圖案集』に関する研究—その3
藤原美菜子*，中江研*，山本一貴，堀内啓佑**
(* 神戸大学), (** 東京大学)
日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系 (63), 281-284. (2023 年 6 月)

- (3) □高せん断応力度比 RC 造梁の曲げ性能保持に関する実験的研究 その2. せん断スパン比 1.5 の実験概要
藤井 稔己*1, 都祭 弘幸*2, 五王 椋太*3
(*1 梁山泊, *2 福山大学, *3 穴吹工務店)
日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造IV, pp. 297-298, (2023 年 9 月)
- (4) □高せん断応力度比 RC 造梁の曲げ性能保持に関する実験的研究 その3. せん断スパン比 1.5 の実験概要
都祭 弘幸*1, 藤井 稔己 *2, 五王 椋太*3
(*1 福山大学, *2 梁山泊, *3 穴吹工務店)
日本建築学会大会学術講演梗概集, 構造IV, pp. 299-300, (2023 年 9 月)
- (5) □山田守によるジードルンクに関する論考とその典拠: 欧米出張から『ジードルンク』の刊行までを中心に
山本一貴, 中江研*
(* 神戸大学)
日本建築学会大会学術講演梗概集 建築歴史・意匠, 447-448. (2023 年 9 月)
- (6) □日本「増田友也の研究 その3 フッサールへの思惟の展開」
藤原美樹*1、常松光政*2
(*1 福山大学、*2 榊都間土建)
日本建築学会大会学術講演梗概集, (2023 年 9 月)
- (7) □地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断
その5. 夏季の起床後・就寝前における想像温度と実際温度の相対差への気象影響
伊澤康一・斉藤雅也・辻原万規彦・岡本孝美
日本建築学会大会学術講演梗概集, pp. 581-582 (2023 年 9 月)
- (8) □地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断
(その6) 福山における想像温度と実際温度の個人差と気象影響
伊澤康一・斉藤雅也・辻原万規彦
空気調和・衛生工学会大会学術講演論文集 第6巻(福井), pp. 33-36 (2023 年 9 月)
- (9) □ZEB 実現のための自然エクセルギー利用システムの最適設計の検討
—太陽熱利用システムの計算モデル構築—
伊澤康一・宋城基
日本太陽エネルギー学会講演論文集 (2023) (大阪), pp. 67-70 (2023 年 11 月)

C. 著 書

- (1) □『小さくてよいもの 西村伊作の世界』第2版
藤原美樹
三協社、(第1版 2022.12、第2版 2023.4)

これまで取り組んだ、西村伊作の活動および倉敷教会設計の経緯、大原孫三郎を中心とした倉敷における文化的ネットワークをとりまとめた。本書のタイトル『小さくてよいもの 西村伊作の世界』は、西村の行った創作や教育、倉敷での活動を取り上げたものである。倉敷教会会堂の設計者が W. M. ヴォーリズから西村伊作に変更になった経緯について明らかにした。倉敷教会会堂設立 100 周年の記念すべき年に、教会で真理を学ぶ方々、倉敷の文化に興味をもたれる方々に、勤勉に誠実に自由に生きた人・西村伊作を知っていただくことを目的とする。